

# 令和5年度 事業報告

特定非営利活動法人あげお学童クラブの会

## 1 事業報告

2023年度も引き続き重点課題として上尾市、市議会、保護者の皆様の多大なるご理解とご協力を得て各大規模学童の解消に向けて取り組みを進めてまいりました。具体的に対策が進んだ学童として、平方学童保育所は平方東小学校内の多目的室で分散保育を実施する中、行政内での協議を経て多目的室を新たな1支援単位として新設していただくこととなりました。西小なかよし児童クラブは地域的にテナントが見つからない状況でしたが、保護者会からの空きテナント情報が実を結び、上尾市の2024年度予算で第二学童を開設できることとなりました。東小・東小第二学童保育所では夏休みの期間中に東小学校のご厚意により体育館や会議室をお借りして分散保育を実施することができました。敷地外学童として課題であった平方西学童保育所は旧平方幼稚園を上尾市の予算で改修していただき、平方小学校敷地内に移転することができました。また、今泉小学童保育所、中央小学童保育所、東町小学童保育所は大規模学童対策として分散先施設が必要となったことから、こどもの城の集会室(小学校体育館も併用)、中央小学校のランチルーム(青少年センターと図書館も併用)、ひかわ幼稚園の空き教室をお借りできたことで、要件を満たす児童を全て受け入れられました。上尾市が掲げる待機児童ゼロを実現するためご協力いただいた関係各位に心から御礼申し上げます。

職員資質向上については、マネジャーが把握した現場の状況や情報をもとに研修室が実情に合わせた研修計画の策定を行いました。各研修では実施後の振り返りまでを流れに組み込むことで個々の学びとともに学童内で改善の方向性を確認することができました。しかし現場配置の職員体制不足により、年度途中から研修室長も現場配置となったため目標であった研修体系を確立するまでには至りませんでした。

2023年度の人事評価制度は評価者を人事担当者に限定することで、基準を共有しやすくなり公平性を保つことができました。加えて、評価シートを各職員が作成することにより自身の仕事を振り返る機会となりました。

保護者との協働運営については、NPO法人が主催して各保護者会の現状について意見交換の場を提供しました。各課題への方向性や手順、選択肢の例示

等にて協力しました。また、保護者同士や保護者と職員のつながりは、子ども達の育ちを一緒に見ていく上で必要不可欠なため、職員が主体的に保護者懇談会を企画して開催できるよう育成支援委員会。また、委員会が中心となり、懇談会の進め方などについて職員間で情報共有を行いました。結果として、保護者の参加人数は少なくても、保護者や職員とが率直に話すことができ、子どもの育成支援につながる懇談となりました。

NPO法人主催の「子どもまつりは」2022年度から準備のための実行委員会を発足させました。2023年度も有志の職員と保護者理事からなる実行委員会形式で、過去の開催内容を振り返るとともに候補会場の選定を行いました。その結果、駐車場はアリオ上尾様の全面協力をいただき、会場は11月3日にこどもの城公園で開催することができました。当日は天候にも恵まれ、会場全体を遊びの場として子どもは勿論のこと大人も一緒に遊んで食べて少し休憩してまた遊ぶ素敵な一日となりました。

法人の運営全般や財政基盤の見直しを行うため運営改善委員会を中心に、財政面をより安定させるため補助金のメニューと仕組み、受給と返還の要件等を複数人で確認し、2023年度は職員の配置や職種、給与体系を見直すことで効率の良い職員体制を目指しました。その結果、少額の返還は発生いたしましたが、人件費として使っていない分の返還となるため財政面での影響は極めて小さく抑えることが出来ました。

市民のニーズである『待機児童0』を継続している結果、複数の学童が大規模化している課題について行政担当課と協議を続けていきました。その結果、2024年年度予算で大石北小第三学童保育所、平方東学童保育所分館、西小第二学童の3学童が新設されることとなりました。また、大規模化により利用児童数が急激に増加した東町小学童、今泉小学童、中央小学童の3学童は児童の安全面を確保するため分散先施設を確保することにより、入所要件を満たす全ての児童を受け入れることができました。この分散先施設は当初の予定にない緊急の対策となったため、これまで各学童の巡回や配置されている支援員のサポートやフォローを行ってきたマネージャーも支援員として学童に配置することで職員体制を確保することとなりました。そのため、2024年度はこれまでのような現場のサポート体制が厳しくなることから、グループ単位で課題に対する振り返りや意見交換などを行う「事例検討」の時間を増やすことで各学童における保育の質をより良くしていく取り組みを行ってまいります。

NPO法人の組織運営として、社会情勢や各種法令の変化や専門性を必要と

する審議に対応できる組織を目指し、NPO法人の各種規程の確認を行いました。NPO法人の中長期的な運営のために必要な事項の迅速な判断や審議のできる会議体を継続して持ち続けるため更なる検討を進めてまいります。

## 2 事業の実施に関する事項（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施日 時	実施場所	従事者 の人数	受益対象者の範囲及び 人数	支出額 (千円)
社会福祉法第2条の第2種社会福祉事業（放課後児童健全育成事業）としての、上尾市内の学童保育所の開設・運営事業	上尾市内の学童保育所の開設と運営	通期	上尾市内 47ヶ所	400名	市内小学校に通う児童 2,442名	916,425
子育て支援に関する講演会、講座及びイベントなどの企画運営事業	子育て支援をテーマにした催し物	11/3 こども まつり	こどもの城 公園	80名	市内小学生と保護者と その家族、近隣の市民等 1500名	234
子育て支援に関する書籍、雑誌等の販売事業	子育てに関する書籍・雑誌の 販売	実施なし				0

## 2023年度 特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人 あげお学童クラブの会（第1号議案）

（単位：円）

科 目	金額		備考
<b>I 経常収益</b>			
1 会費・入金収入			
1) 正会員会費	40,000		
賛助会員会費	11,000	51,000	
2 事業収入			
(1) 社会福祉法第2条の第2種社会福祉事業（放課後児童健全育成事業）としての、上尾市内の学童保育所の開設・運営事業収益			
1) 保育料収入	357,074,160		
2) 入所金収入	10,335,000		
3) 法人運営費	24,219,500		
4) 時間外等雑収入	844,300	392,472,960	
3 補助金等収入			
1) 事業委託料収入	500,715,932		
2) 市補助金（事業費補助金）	55,302,600	556,018,532	
4 寄附金収入	0	0	
5 その他収入			
退職給料引当金戻入	3,012,963		
雑収入	877,770	3,890,733	
経常収益計			952,433,225
<b>II 経常費用</b>			
1 事業費			
(1) 社会福祉法第2条の第2種社会福祉事業（放課後児童健全育成事業）としての、上尾市内の学童保育所の開設・運営事業			
1) 人件費	759,414,310		
2) 保育費	68,018,168		
3) 学童保育事業運営費	88,997,022		
4) 退職金	0	916,429,500	
(2) 子育て支援に関する講演会、講座及びイベントなどの企画運営事業	234,691	234,691	
(3) 子育て支援に関する書籍、雑誌等の販売事業	0	0	
(4) その他、児童の育成支援に関わる事業	0	0	
2 管理費			
1) 人件費			
役員報酬	10,505,519		
職員給与、他	25,744,081		
2) 管理運営費	19,661,719	55,911,319	
3 予備費			
予備費	0	0	
4 基金積立金			
退職給料引当金繰入	3,012,963	3,012,963	
経常費用計			975,588,473
<b>III 経常外収益</b>			
経常外収益計	0	0	0
<b>IV 経常外費用</b>			
1) 雑損失	1,105,780		
経常外費用計		1,105,780	1,105,780
当期正味財産増減額			-24,261,028
前期繰越正味財産額			25,758,795
次期繰越正味財産額			1,497,767



## 2023年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2024年3月31日現在

特定非営利活動法人 あげお学童クラブの会 (第1号議案)

(単位:円)

科 目	数 量	金 額		
<b>I 資産の部</b>				
1 流動資産				
現金 現金手元預かり高		407,971		
小口現金		0		
普通預金 埼玉りそな銀行上尾西口支店		94,185,342		
普通預金 埼玉りそな銀行上尾西口支店 (施設費)		8,370,920		
ゆうちょ銀行 振替口座		40,801,104		
ゆうちょ銀行 総合口座		25,612,951		
楽天銀行		3,421,428		
未収保育料・立替え金等	47クラブ分	7,230,760		
流動資産合計			180,030,476	
2 固定資産				
建物		54,052,368		
車両運搬具		2		
什器備品		7,206,234		
敷金		4,595,670		
保証金 (民設民営学童保証金)		4,448,500		
出資金		5,000		
固定資産合計			70,307,774	
資産合計 (A)				250,338,250
<b>II 負債の部</b>				
1 流動負債				
預り金		20,373,670		
仮受金		133,713,850		
短期借入金		91,740,000		
流動負債合計			245,827,520	
2 固定負債				
退職給料引当金		3,012,963		
固定負債合計			3,012,963	
負債合計 (B)				248,840,483
正味財産 (C)				1,497,767